

13s プロジェクト現場で使えるリスクマネジメント

1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場※	NISA研修室（住所：〒850-0032 長崎市興善町4番6号）
・講師	福岡ソフトウェアセンター(FSC)講師：大橋 知子
・開催月日	2024年10月30日(水)・31日(木)・11月1日(金)
・実施時間・日数	9:30 ~ 17:30 (7時間/日)・3日間(21時間)
・受講料(税別)	94,560円
・教材料(税別)	6,000円

※研修会場は変更する場合がありますので最新情報はNISAホームページでご確認下さい。

2. 対象者

プロジェクトに関わるプロジェクトリーダー・これから関わるあらゆるメンバ
プロジェクトマネジメントの基礎知識を有していることが望ましい

3. カリキュラムの概要

これから「変化への対応」を求められる時代において、プロジェクトを成功裏に完了することは、ビジネス上の大きな鍵を握っています。プロジェクトにおけるリスクへの準備を、いろいろなシーンを想定して、現場での行動を演習を重ねることで、「自分ごと」として、とことん考えます。
よくある事例の失敗から、「実は手が打てていない薄っぺらな対策」、を排除し、現場で問題があったときに速やかに正しく手を打つことができるスキルを習得します。

4. カリキュラムの詳細

3日間(21時間)

	科目	時間	科目の内容
10月30日	1. DX時代のITサービス 2. DX時代のプロジェクトマネジメント	3.0h	(はじめに) ◆DX(デジタルトランスフォーメーション)時代のビジネスモデル ◆顧客視点からビジネス上の価値を考える ◆DX時代のプロジェクトマネジメント～ PMBOKの動向
	3. リスクマネジメントの考え方	4.0h	◆プロジェクトマネジメントにおけるリスクマネジメントプロセス ◆振り返り=マネジメントの基本 ＜実践ワークショップ： そのときどうする(キックオフ前)＞
10月31日	4. リスクの発生要因	3.0h	◆リスク発生要因の分析①(ステークホルダ、組織、技術、社会情勢など)
	5. リスクと問題解決・そのレビュー	4.0h	◆リスク発生要因の分析②(プロジェクトの周辺、業種、契約) ◆リスクへの感度を高める ◆問題の分析でメンバーを心の病にしないこと！ ＜実践ワークショップ： そのときどうする(キックオフ後)＞

	科目	時間	科目の内容
11月1日	6.プロダクトマネジメントの時代	3.0h	◆プロジェクトマネジメントとプロダクトマネジメントの相違 ◆プロダクトマネジメントにおけるリスク
	7.リスク・問題を財産として蓄積する	4.0h	◆全体の振り返り～学んだ教訓を次に活かす分析 ＜実践ワークショップ： ショートケース、3本ノック＞
	計	21.0Hr	

※改善のためカリキュラムは予告なく変更させていただくことがあります。

5. 使用教材

オリジナルテキスト

6. 到達目標

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

- ① DX(デジタルトランスフォーメーション)の時代に必要とされる「顧客に寄り添うビジネス価値提案」ができるようになる。
- ② イノベーションを起こすプロジェクト企画時に、ビジネスモデルと必要な要素を含んだプランの作成ができるようになる。

7. ITSSレベル

3-4

8. 受講証明書の発行

PMP資格試験受験および資格保持のための時間認定証明を12時間支給します。

また、本講座はPMIの「新CCRプログラム」に対応しています。

教育サブ・カテゴリー: Ways of Working 5.0 Power Skills 6.0 Business Acumen 10.0